

ごめんなさい！ その…白夜の王女として
こういう強引なことをするのは 本当に申し訳ないのですが…
でも 人見知りを克服するには こうするしかないって…

ドキドキ
ドキドキ

んんっ…♡ はあ…♡ そのお兄さんのおちんぽ…♡
とても大きくて… 私の中でびくびくしてます…♡

ずぶずぶ

びん
びん



お兄さん…！ 苦しそうな顔してるのに…！
おちんぽ すごく硬くなってます…！♡
ひゃつ…！♡ 私の中で お兄さんののが 跳ねてる…！♡

も もしかして 気持ちいいんでしょうか…？
うふふ…！♡ よかった…！ 私 お兄さんを困らせてるだけかと…！
それなら…！ もう少し動いても いいですよね…！♡



お兄さん 少し喘ぎ声を抑えられませんか…？
声を出し過ぎると周りの人に聞こえちゃいますから…♡
しーっ♡ 私に逆らうと 白夜王国への反逆罪ですよ…？♡

うふふ…♡ お兄さんのおちんぽ…私の言葉で震えてます…♡
私のような未熟な王女におちんぽ扱かれて気持ちいいんですね♡
情けない声をあげて 恥ずかしくはないんですか…？♡



お兄さんのおちんぽ もうびくびくして…♡
私のきつつきつおまんこに…♡ 負けそうなんです…？
ふふっ…♡ もう限界みたいですね…？

お兄さんのおちんぽ汁 全部搾り取っちゃいます…♡
未熟な王女のおまんこに 精液 献上してください…♡

ぽんっ♡

ずぼんっ♡

しゃべっ♡

じゅわんっ♡

おぽんっ♡

ぽんっ♡



びゅーっ♡♡ びゅNONOっ♡♡ びゅNONOっ♡♡

んっ…♡♡ びゅびゅびゅっ…♡♡ 中に溢れて…♡♡

はぁ♡♡ はぁ♡♡

ぎゅっ♡♡ ぎゅっ♡♡

びゅっ♡♡ びゅっ♡♡ びゅっ♡♡

お兄さんの…♡♡ せーえき…♡♡ たくさん…♡♡
はぁ…♡♡ はぁ…♡♡ まだ出てる…♡♡ すごい量…♡♡
私の中…♡♡ お兄さんの…♡♡ いつぱいです…♡♡



はあ…こんなことして…本当にごめんなさい…
お兄さんのおかげで…自信が持てました…♡

でも…まだまだ修行が足りないかもしれないかも…
でも…でも…

あの…また会ったら…その時は…
もっと激しく…可愛がってあげますね…♡













